CLOSE UP!

「どんな商売でも結局は〝人と人〟。お客様のために仕事をして、お客様のために利益を上げることが、自ずと自分たちの成長につながっていくのです」

対談記事 ▸▸ 050p

アスロード物流 株式会社

代表取締役 **安田 浩**

Guidelines for business

10代で大手物流会社に入社した安田氏は、朝は誰よりも早く出社し、夜は誰よりも遅くまで働く好青年だった。その姿勢を買われてキャリアアップを重ね、25年の勤務で営業本部長にまで昇進。次期社長の呼び声も高かったが、会社の体制変更で自らが長く付き合ってきた顧客の仕事を断ることを迫られた際、同氏は何の迷いもなく退社を決断した。「会社の成長は、お客様あってこそ」――その仁義溢れる思いで立ち上げたのが、アスロード物流（株）だ。「利」よりも「義」を重んじる同社が切り開く明日は、きっと輝かしいものになるに違いない。

アスロード物流 株式会社
代表取締役
安田 浩

学業修了後は物流の世界に入り、大手物流会社のドライバーとして勤務する。若くから頭角を現し20代で所長に昇進、その後もキャリアを積んで営業本部長にまで上り詰める。しかし会社の体制が変わり、営業方針の転換を迫られたことから、自らが長年付き合ってきた顧客の仕事を請け続けるために独立を決意。2013年3月にアスロード物流（株）を設立した。

車と人の品質がサービスの信頼感を生む “明日の道”を皆で切り開く物流企業

物流業界一筋で歩み、転機となった2013年に会社を設立したアスロード物流(株)の安田社長。前職で次期経営者というポジションにいながら独立を決断した背景には、社長が貫き続ける顧客への熱い思いがあった。野球評論家の吉村禎章さんが、その核心に迫るインタビュー。

仁義を貫いた末の決断

吉村　安田社長は、もう四半世紀以上も物流業界に身を置いていらっしゃるそうですね。

安田　ええ。高校を卒業してすぐに前職である大手物流会社に就職し、運送ドライバーとしてキャリアをスタートさせました。私は結婚が早く、20歳のときには子どももいましたから、当時はとにかく家族を守るためにがむしゃらに働いていましたね。その姿勢が評価されたのか、26歳で所長に抜擢され、その後も順調に昇進を続けて最終的には営業本部長を任されて。実は、退職前には私が次期経営者という話も出ていたんです。

吉村　すると、その会社の経営を担う道もあったと思います。そこから独立という大きな決断をされた理由というのは？

安田　当時、その会社はメインのお客様1社、サブメインのお客様10社と取引をしており、サブメインのお客様とは私が営業担当としてお付き合いしていました。ところが、会社の体制が変わったことで「サブメインのお客様との取引からは撤退する」という方針が打ち出されてしまって。会社の利益のためにメインのお客様との関係を強化するという理屈は理解できましたが、これまで私たちの事業を支えてくださっていた他のお客様を、こちらの都合だけで切り離すなんて、私にはとてもできないと思ったんです。

吉村　なるほど、「利」よりも「義」を重んじようと思われたのですね。

安田　はい。そこで、私が自ら会社を興すことで担当していた10社全てとお付き合いを続けていこうと考え、その旨を一社一社に訪問してお伝えしました。すると、ありがたいことに全てのお客様からご賛同と応援を頂けたんです。

吉村　安田社長のそれまでの仕事ぶりが評価されていた何よりの証拠ですね。

安田　また、会社設立に際しては15人もの部下たちが私についてきてくれました。彼らとの付き合いも、もう20年近くになるので、長年支え続けてくれていることに感謝の念しかありません。

安心安全のトータル物流サービス

吉村　創業5年目で、従業員150名を抱える企業にまで成長されたそうですが、その秘訣は何だったとお考えですか？

安田　シンプルに、車と人の品質でしょうか。商品をしっかり運べる車を配車し、お客様にきちんと商品を手渡しできるドライバーを育てる。そうして、常にお客様に対する「信頼」「安心」「満足」を意識した業務を手掛け、徐々に事業を拡大してきました。今ではチャーター運送、混載配送、ルート配送といったお客様のニーズに合わせた様々な運送サービスに加え、お客様の貨物をお預かりする倉庫業など、物流に関わる事業を多岐にわたって手掛けています。こうしてサービスの幅を広げ、質を高めていくことで、自分たちの利益を上げつつも、「お客様の利益に最大限貢献したい」というのが、私たちの一番の思いです。

吉村　なるほど。高い品質を保つには、スタッフの方のモチベーション維持も重要になってきますよね。

安田　おっしゃる通りです。どんな事業も人がいなければ成り立ちませんから、スタッフの労働環境には気を遣っています。無事故のドライバーを表彰したり、家族を交えた食事会を開いたり。また、運送という業種柄、お酒を飲む機会が少ない分、リゾートホテルを自社で保有してスタッフ同士や家族、友人と一緒に安価で宿泊できる保養所を完備しているんです。そうすることで、一人ひとりに心の余裕が生まれますし、それがお客様にも伝わるはずですから。

“役目”としての地域貢献を

吉村　また、御社ではコンビニ経営や、地域貢献の一環として障がい者雇用にも力を入れていらっしゃると伺いました。

安田　はい。コンビニは現在5店舗を経営しており、今後は飲食店経営も始める予定です。接客を通じてドライバーのサービス品質が磨かれるとともに、高齢のドライバーが働く受け皿にもなりますから。また障がい者雇用に関しても、自社倉庫を借りて取り組んでいます。倉庫業やコンビニにおける細かい陳列や検品作業などは障がいを持った方でも十分こなせますし、そういった方々を適材適所で生かしてあげるのが企業の役目だと思うんです。現在は倉庫に2名、配送に1名、障がいを持ったスタッフを配置していますが、皆しっかり活躍してくれていますよ。

吉村　事業を通じて多くの人を幸せにしたいという社長の熱い思いを感じます。まだまだ成長していかれそうですし、今後も楽しみですね。

安田　お客様はもちろん、当社で働くスタッフにも「明日の道」を切り開いていってほしい。「アスロード」という社名には、そんな私の願いを込めているんです。これからも、お客様のための仕事を続けて利益を上げつつ、スタッフにはどんどん新しいことに挑戦してもらいたいですね。そして将来的には事業部ごとに分社化して、育ったスタッフたちを社長にしてあげられたらと思います。

Focus on the topic

顧客ニーズに最適な方法でトータル物流サービスを展開

アスロード物流（株）では、食品物流を主とした運送、倉庫事業を手掛けている。本社を除いた営業所は、横浜営業所、川口営業所、相模原営業所、郡山営業所の4拠点。車両は、13t冷凍車・冷蔵庫4台、13tウイング車1台、4t冷凍・冷蔵庫33台、4tウイング車8台、3tドライ車2台の計48台を所有しており、顧客のニーズに適した配送状態での運送が可能だ。

Guest Comment>>

吉村 禎章（野球評論家）

お話を伺う中で、安田社長の事業にかける並々ならぬエネルギーを感じ、バイタリティの強い方だと感服しました。特に、「人」に対する情は非常に熱く、スタッフの方にもその思いがしっかりと伝わっている様子でしたから、この先も間違いなく成長していかれるでしょう。皆さんがどんな明日を切り開かれていくのか楽しみです。

Company Data>>

アスロード物流株式会社

〒230-0041
神奈川県横浜市鶴見区潮田町2-99
URL http://asuroad.com/
■ 一般貨物自動車運送事業〈関自貨第293号〉
■ 貨物利用運送事業　■ 倉庫業
■ 物流コンサルティング業　■ 販売業
■ 飲食店経営　■ コンビニエンスストア経営